

# 西田幾多郎シンポジウム

## 金沢から考える西田哲学の可能性とその魅力

近年西田哲学に関する膨大な新資料が次々に石川県西田幾多郎記念哲学館に寄託され、西田哲学に対する新たな研究の期待が高まっている。また昨年、哲学館と金沢大学附属図書館によって、ながらく幻の書物とされていた『西田氏実在論及倫理学』が附属図書館駒井文庫から発見されて、ニュースになった。西田が学びまた教鞭をとったここ金沢には、もともと西田哲学について強い関心をもつ市民、学生が多くいることもあり、この金沢の地から西田哲学を再評価する機運が生まれつつある。そこで、金沢大学では、石川県西田幾多郎記念哲学館の協力のもと、西田幾多郎に関する企画展を実施するとともに、シンポジウムを開き、上記の新資料や企画展示についての情報提供もふくめ、西田哲学の可能性と魅力を討論する。



四高教授時代の西田幾多郎  
(三々塾生写真 金沢大学資料館所蔵)

■日時 2023年10月16日（月）16:30～18:00

■場所 金沢大学附属図書館中央図書館AV室

入場無料（予約不要）一般の方も参加いただけます。

■提題者 ※各提題者が15分ずつ発表後、最後に全員でディスカッションを行います。

石川県立看護大学講師

中嶋 優太

『善の研究』の形成過程と新資料

金沢大学附属図書館  
情報サービス課長

橋 洋平

金大図書館所蔵西田幾多郎関連資料の  
“お宝化”について考える

金沢大学融合学域准教授

小田桐拓志

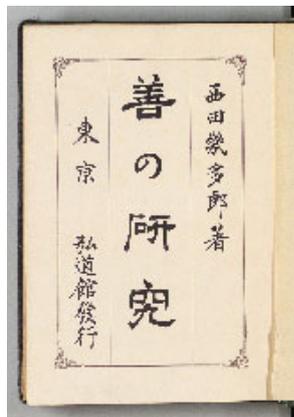
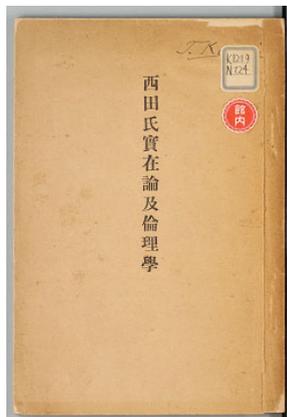
「脳の世紀」はなぜ失敗したのか  
—西田哲学入門—

金沢大学人間社会研究域教授

山本 英輔（司会）

後期西田哲学の魅力

—寸心読書会の経験から—



### 【関連イベント】

企画展「四高は「善の研究」のふるさと：  
金沢大学の蔵書から見た西田幾多郎」

期間：2023年10月13日（金）～11月6日（月）

場所：金沢大学附属図書館中央図書館

「思考の森」展示スペース

シンポジウムにあわせて、『善の研究』の初出雑誌等、附属図書館で所蔵する西田幾多郎関連の資料を展示します。

(左) 『善の研究』の第2、3編のもとになった印刷物『西田氏実在論及倫理学』、  
(右) 『善の研究（明治44年、弘道館刊、初版）』（いずれも金大図書館所蔵）

問い合わせ

金沢大学附属図書館

TEL 076-264-5211

e-mail etsuran@adm.kanazawa-u.ac.jp

主催  
協力

金沢大学 人間社会研究域、金沢大学附属図書館  
西田幾多郎記念哲学館

